

●男女の役割や家事・育児についておたずねします。〔家庭の男女共同参画〕

問 1. あなたは「男女共同参画」について、どのくらい知っていますか。 (○は1つ)

1. 言葉と意味の両方を知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

男女共同参画社会基本法では

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のことを「男女共同参画社会」と定義しています。

ひとりひとりの考え方や生き方を尊重し合い、認め合う、思いやりのある社会を目指しています。

問 2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。

(○は1つ)

- |               |               |              |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 賛成         | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかといえば反対 | 5. 反対         |              |

問 3. 【1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 と答えた方にお聞きします】

問 2 の回答を選んだ理由として近いものは次のうちどれですか。 (○は2つまで)

1. 妻が家庭を守るほうが、子どもの成長などに良いから
2. 仕事と家庭の両立をしながら、妻が働き続けることは大変だから
3. 夫が働くほうが、多くの収入を得られると思うから
4. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
5. 自分の両親も役割分担をしていたから
6. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

問 4. あなたが 1 日に行う家事 (育児や介護を含む) の時間と、仕事 (収入を得るための労働) の時間は、それぞれ平均どの位ですか。配偶者がいる方は、あなたの配偶者の時間についても、( ) 内にお書きください。 (数値を記入)

【あなた自身】

1 家事 (1 日平均)	( ) 時間 ( ) 分
2 仕事 (1 日平均)	( ) 時間 ( ) 分

【あなたの配偶者】 ※現在配偶者がいない方は無記入で結構です。

1 家事 (1 日平均)	( ) 時間 ( ) 分
2 仕事 (1 日平均)	( ) 時間 ( ) 分

●働き方についておたずねします。〔職場の男女共同参画・ワーク・ライフ・バランス〕

\*女性の活躍推進・キャリアアップ

問 5. 【女性の方のみお答えください】女性の働き方について、あなたのお考えを教えてください。ご自身はどのような希望をお持ちですか（お持ちでしたか）。（○は1つ）

1. 結婚後もまたは子どもが産まれても、職業をもち続けたい
2. 子どもが産まれたら一度仕事を辞め、成長して手が離れたらまた職業をもちたい
3. 結婚するまでは、職業をもちたい
4. 子どもが産まれるまでは、職業をもちたい
5. 特に職業はもちたくない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

→問 5-1. 【1.~4.を回答された方にうかがいます】もし、あなたが管理職になるように求められたら引き受けますか（引き受けましたか）。よろしければ、その理由も簡単にご記入ください。（○は1つ）

1. 引き受ける（引き受けた）
  2. 引き受けない（引き受けなかった）
- （その理由： \_\_\_\_\_）

問 6. 【男性の方のみお答えください】あなたは、配偶者（妻）にどのような働き方を望みますか（望んでいましたか）。（○は1つ）

※現在配偶者がいない方は問7に進んでください。

1. 結婚後もまたは子どもができて、職業をもち続けてほしい
2. 子どもが産まれたら一度仕事を辞め、成長して手が離れたらまた職業をもってほしい
3. 結婚するまでは、職業をもってほしい
4. 子どもが産まれるまでは、職業をもってほしい
5. 妻が職業をもつことは望まない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

→問 6-1. 【1.~4.を回答された方にうかがいます】もし、あなたの妻が管理職になるように求められたら引き受けることを薦めますか（薦めましたか）。よろしければ、その理由も簡単にご記入ください。（○は1つ）

1. 薦める（薦めた）
  2. 薦めない（薦めなかった）
- （その理由： \_\_\_\_\_）

問 7.【**すべての方**にうかがいます】女性が働き続けるためには、職場において何が必要だと思いますか。 (○は2つまで)

1. 短時間勤務制度やテレワーク（在宅勤務）などの柔軟な勤務形態
2. 女性が働き、仕事で活躍することへの職場（管理職、従業員）の理解・協力
3. 男女の待遇の差の改善
4. 能力開発のためのセミナーの充実
5. 育児・介護休業制度の充実
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**\*男性の働き方改革・家事や育児への参加**

問 8.【**すべての方**にうかがいます】男性が「育児休暇」や「介護休暇」を取得することについて、どう思いますか。よろしければ、その理由も簡単にご記入ください。  
(○は1つ)

1. 賛成する
  2. 反対する
  3. どちらともいえない
- (その理由： \_\_\_\_\_ )

問 9.【**男性の方**にうかがいます】職場で出産・育児・介護に直面した状況を想定してあなたは「育児休暇」または「介護休暇」を取得したいと思いますか（思ったことはありますか）。 (○は1つ)

1. 今後休暇を取得したいと思うし、取得するつもりである
2. 休暇を取得したいと思い、実際に取得した経験がある
3. 今後休暇を取得したいと思うが、取得はしないつもりである
4. 過去に休暇を取得したいと思ったが、取得できなかった
5. 今後も休暇を取得したいと思わない（過去にも思わなかった）
6. 職場でそのような経験したことがないのでわからない

→ 問 9-1.【**3.したいと思うが、取得はしないつもりである 4.したいと思ったが、取得できなかった と答えた方**にうかがいます】その理由は何ですか。 (○は3つまで)

1. 仕事が忙しいから
2. 休暇後、現職に復帰する保証がないから
3. 休暇期間中の収入に不安があるから
4. 職場の理解を得られないから
5. 家族の理解を得られないから
6. 代替要員の確保が困難だから
7. 昇進・昇給の際に不利だから
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**\*ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）**

問 10. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」について、どのくらい知っていますか。

（○は1つ）

1. 言葉と意味の両方を知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

**ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは**

仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、自分のライフスタイルを自ら希望するバランスで選択できることをいいます。仕事を頑張りたい、家庭を大切にしたい、地域活動へ積極的に関わりたい、個人の時間を大切にしたい・・・人生の中で大切にしたいことは人それぞれで、ライフステージによっても変わります。それぞれが大切にしていることを尊重できるように環境を整えることも大切です。

問 11. あなたは、現在、次にあげるような地域活動に、どのくらい参加していますか。

（ア～オのそれぞれについて、1～3までのうち、1つに○）

	1 積極的に参加	2 たまに参加	3 ほぼ不参加
ア. 町内会・自治会・商店会などの地域活動	1	2	3
イ. スポーツ・文化・趣味などのサークル活動	1	2	3
ウ. 父母会やPTAなどの活動	1	2	3
エ. 市民活動やボランティア活動	1	2	3
オ. 市民講座や学習会などの活動	1	2	3

問 12. 仕事と家庭生活、または地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つきあい等）との関わりについて、あなたの理想にいちばん近いものは何ですか。

（○は1つ）

※現在働いていない方は、働いている場合を想像してお答えください。

1. 家庭生活または地域・個人の生活よりも、仕事に専念したい
2. 家庭生活または地域・個人の生活にも携わるが、あくまで仕事を優先させたい
3. 家庭生活または地域・個人の生活と仕事を同じように両立させたい
4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域・個人の生活を優先させたい
5. 仕事よりも、家庭生活または地域・個人の生活に専念したい

問 13. それでは、**現在の状況**では、あなたは次のどれに当てはまりますか。 (○は1つ)

1. 家庭生活または地域・個人の生活よりも、仕事に専念したい
2. 家庭生活または地域・個人の生活にも携わるが、あくまで仕事を優先させたい
3. 家庭生活または地域・個人の生活と仕事を同じように両立させたい
4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域・個人の生活を優先させたい
5. 仕事よりも、家庭生活または地域・個人の生活に専念したい
6. 家庭生活または地域・個人の生活にも関わりたいが、関わり方が分からない
7. 現在働いていないので、家庭生活または地域・個人の生活が中心である

問 14. 「ワーク・ライフ・バランス」の実現のために、行政にどのようなことを望みますか。

(○は2つまで)

1. 事業所への働きかけによる事業主の意識改革
2. 優良事業所の情報提供や先進的事例の表彰制度などによる取り組みの支援
3. 育児サービスや学童保育などの子育て支援の充実
4. 男性の家事や育児・介護等の講座や情報提供
5. 介護施設やサービスの充実
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 15. 現在、人口減少対策として、子育て世代の男女間の役割分担や働き方の改革が求められています。子育て世代が、男性も女性も働きながら、安心して子育てができるようにするために必要な支援は何だと思えますか。 (○は2つまで)

1. 保育所など、子どもを預け、夫婦がともに働き続けられる環境の整備
2. 男女間の家事や育児に対する固定的な役割分担意識の解消
3. 時短勤務やフレックス制など、多様な働き方が可能で、仕事と育児や介護などが両立できる職場環境の整備
4. 男性が家事や育児などに参加しやすくなるセミナー等のスキルアップ支援の充実
5. 女性が継続就労やキャリアアップに意欲が持てるような支援の充実
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

●平等・人権についておたずねします。〔ハラスメント・暴力〕

問 16. 日常生活において、あなたは以下のようなハラスメントを受けたことがありますか。

(ア・イのそれぞれについて、1～3までのうち、1つに○)

	1 ある	2 ない	3 わからない
ア. セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
イ. パワー・ハラスメント	1	2	3
ウ. マタニティ・ハラスメント または パタニティ・ハラスメント	1	2	3
エ. モラル・ハラスメント	1	2	3

**セクシュアル・ハラスメントとは**

行為者本人が意図するしないに関わらず、相手が尊厳を傷つけられたと感じるような性的発言・行動のこと。

**パワー・ハラスメントとは**

地位や人間関係などの優位性を背景に、適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与える、周囲の環境を悪化させるような行為のこと。主に、職場内でのパワー・ハラスメントが問題になることが多い。

**マタニティ・ハラスメントとは**

妊娠・出産・育児を理由に、女性が職場で精神的・肉体的嫌がらせ、解雇などの不当な扱いを受けること。

**パタニティ・ハラスメントとは**

出産・育児を理由に、男性が職場で精神的・肉体的嫌がらせ、降格・減給などの不当な扱いを受けること。

**モラル・ハラスメントとは**

言葉や態度、身振りや文章などによって相手の人格や尊厳を傷つける、肉体的・精神的に傷つけること。

問 17. あなたは夫婦間（事実婚含む）や恋人の間での、DV（ドメスティック・バイオレンス）について見聞きしたことがありますか。 (当てはまるものすべてに○)

1. テレビや新聞などの報道で、DVの問題は聞いたことがある
2. 身近な人に当事者がいることを知っている
3. 身近で被害にあった人から相談を受けた
4. 自分が直接、被害の経験をした
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**DV（ドメスティック・バイオレンス）とは**

配偶者や恋人などの親密な関係にある人、過去に関係のあった人から振るわれる暴力のこと。肉体的・精神的・経済的・性的な暴力などが含まれます。

～あなたが怖い思いをしたら、身近で怖い思いをしている人がいたら、迷わず相談してください～

都留市役所健康子育て課 ☎0554-46-5113（年末年始を除く 平日 9時～17時）

このほかにも、山梨県や警察が設置している配偶者暴力、性暴力の相談窓口があります。

問 17-1. 【4.自分が直接、被害の経験をした と回答した方にうかがいます】

あなたは次のうちどのような被害にあいましたか。

(ア～エのそれぞれについて、1～3までのうち、1つに○)

	1 全くない	2 時々あった	3 何度もあった
ア. なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
イ. あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動を受けた	1	2	3
ウ. 生活費を渡さない、貯金を勝手に使うといった経済的な被害を受けた	1	2	3
エ. いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

問 17-2. 【4.自分が直接、被害の経験をした と回答した方にうかがいます】

あなたはこれまでに、相手からうけた暴力的な行為によって、ケガをしたり、医師の治療を受けたりしたことがありますか。 (当てはまるものすべてに○)

1. ケガをして医師の治療を受けた
2. ケガをして医師の治療が必要となる程度だったが、治療は受けなかった
3. ケガをしたが、医師の治療が必要とならない程度だった
4. ケガはしなかった

問 17-3. 【4.自分が直接、被害の経験をした と回答した方にうかがいます】

あなたはこれまでに、相手からうけた暴力的な行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。 (当てはまるものすべてに○)

1. 友人・知人・家族などに相談した
2. 警察に連絡・相談した
3. 女性相談所など県の機関に相談した
4. 市町村（福祉事務所等）に相談した
5. 民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）に相談した
6. 誰にも相談できなかった
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

●最後に、今まで教えていただいたことを統計的に分析するために必要な事項をおたずねします。次のア～クの項目ごとに、1つずつ選んで番号を○で囲んでください。

ア. 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他					
イ. 年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代	7. 80歳代以上	
ウ. お住まいの地区	1. 谷村	2. 三吉	3. 開地	4. 東桂	5. 宝	6. 禾生	7. 盛里	
エ. 主たる職業 ※いちばん近いものをお答えください。	1. 法人・団体役員 2. 自営業主（農林漁業、商工サービス業、自由業、家庭内職者など） 3. 自営業の家族従業者 4. 被雇用者（常勤）※出産休暇、育児休業中も含まれます。 5. 被雇用者（パート、アルバイト、嘱託その他） 6. 主婦・主夫 7. 無職 8. 学生 9. その他							
オ. 結婚（事実婚含む）	1. 未婚	2. 既婚（配偶者がいる）	3. 離別、死別					
カ. 夫婦の就業状況	<b>【オ.で2.既婚（配偶者がいる）を選んだ方】</b> ※現在働いていない場合は、当てはまるほうの②を選択してください。 1. 一①夫婦で共働き ②現在働いていないが、以前そうだった 2. 一①夫婦のひとりが有業 ②現在働いていないが、以前そうだった							
キ. 家族構成	1. 単身世帯（一人暮らし）		2. 夫婦のみの世帯		3. 夫婦と子の二世帯同居			4. 夫婦と子・孫の三世帯同居
ク. 一番年下の子ども ※当てはまるものをお答えください。	1. 0～6歳（未就学児）		2. 小学生	3. 中学生		4. 高校生		5. 専門学校・短大・大学生等
	6. 社会人（同居している）		7. 社会人（同居していない）		8. 子どもはいない			

●本調査のテーマについて他にご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。




質問は以上です。ここまでご回答いただき、誠にありがとうございました！

